

## 日本ロシア語教育学会 2025 年度 総会 議事録

日時：2024 年 12 月 7 日（土）17 時 32 分～17 時 48 分

場所：筑波大学

議長：白山利信氏

出席者：22 名（対面 18 名＋オンライン 4 名）

### 【1】会員の異動（敬称略）

事務局長高橋より、以下の通り会員の異動について報告があった。

- ・現在の会員数（賛助会員および休会者を含む）：104 名
- ・新規会員（5 名）：大崎 果歩 Осаки Кахо、サヴィヌイフ・アンナ Савиных Анна、ブンティロフ・ゲオルギー Бунтилов Георгий、斑目 貴陽 Мадарамэ Такахару、アフアナシエヴァ・ナターリア Афанасьева Наталья
- ・退会者（9 名）：バソヴァ О. Басова Ольга、林田 理恵 Хаясида Риэ、城田 俊 Сирота Сюн（2023 年 8 月退会扱い）、原ダリア Хара Д.、清沢 紫織 Сиори Киёсава、ポポヴァ エカテリーナ Попова Екатерина、チモシェンコ N. Тимошенко Наталья（2024 年 9 月から 7 年さかのぼって退会扱い）、有宗 昌子 Аримунэ Масако、小林 淳子 КОБАЯСИ Дзюнко
- ・逝去（1 名）：木村 崇 Кимура Такаси（2024 年 4 月にご逝去）、
- ・休会者（3 名）：扇 エリザヴェータ Оги Елизавета、桐越 ナタリア Кирикоси Наталья、サルキンデル M. Салкиндер Мария

### 【2】2024 年度活動報告

事務局長高橋より、以下の通り活動について報告があった。

#### 2023 年

12 月 3 日 研究集会・総会（所属はいずれも当時）（@京都外国語大学）

##### 第 1 部 基調講演

林田理恵先生（京都外国語大学教授）

講演タイトル：「トランス・ランゲージング—マルチリテラシーズを育てる外国語教授法」（ハイブリッド）

##### 第 2 部 研究報告

「スロバキアの学校で使用されているロシア語の教科書」

発表者：池田有里（大阪大学）

「心理的言語類型論の研究動向について」

発表者：賀イキ（大阪大学）

«Анализ ошибок, допущенных машинным переводом, как приём обучения студентов-русистов»

発表者：ラティシェヴァスヴェトラーナ（上智大学）

「海外ロシア語研修・留学の新たな可能性を探る—カザフスタンとキルギスを事例として—」

発表者：臼山利信，梶山祐治，徳田由佳子，加藤百合，山本祐規子，光井明日香  
(筑波大学)

「AI との共生時代—ChatGPT を活用したロシア語授業の展開—」

発表者：バリノワアンナ，菱川邦俊，ミソチコグリゴリー，三好マリア（京都外国  
語大学）

## 2024 年

7 月 6 日 東日本・西日本地区合同例会（@上智大学）

報告 1：横井幸子（大阪大学）

「「読む」「書く」活動における「媒介」について」

報告 2：山本祐規子、梶山祐治、徳田由佳子、臼山利信、加藤百合、光井明日香（筑波大学）

「中央アジアでのロシア語研修参加者の人間的成長の可視化—アンケート分析を中心とし」

報告 3：三神エレナ（慶應義塾大学）

「イリーナ・アンドレーエヴァの教科書『生きた言葉』 A+ (As Spoken: Russian for Every-day Usage. A1+ Confident Elementary Level) におけるロシア語の動詞の体へのアプローチ」

報告 4：ブンティロフ・ゲオルギー（北海道大学）

「日本語母語話者向けのロシア語発音の教材作成～実践から生まれたオンライン教材～」

報告 5：サヴィヌィフ・アンナ（北海道大学）

「ロシア語教師と学習者の視点で見るロシア語発音指導における課題と効果的な指導方法」

未完（12 月発行予定）『ロシア語教育研究』第 3 (通算 15) 号発行

### 【3】2024 年度会計報告

事務局財務担当藤川氏より 2024 年度の会計について説明があり、審議の結果、承認された。

### 【4】2025 年度活動計画案

事務局長高橋より、下記のとおり、2025 年度活動計画案について提案があり、審議の結果、承認された。

- ・第 2 回継承語ロシア語スピーチコンテスト 2024 年 12 月 1 日（オンライン）
- ・全国大会＆総会 2024 年 12 月 7 日（土）@筑波大学
- ・西日本・東日本合同例会：2025 年 4 月-7 月（@未定）
- ・『ロシア語教育研究』第 4 号（通算第 16 号）：エントリー 3 月末／原稿ベ切 5 月末／発行 9 月

### 【5】2026 年度 全国大会＆総会計画案

横井会長より、2026 年度全国大会＆総会計画案が未定のため、理事会に一任という提案があり、承認された。

全国研究大会＆総会： 2025 年 12 月（日にち・場所予定）

#### 【6】2025 年度予算案

事務局財務担当藤川氏より 2025 年度予算案について説明があり、審議の結果、承認された。

#### 【7】2025 年度役員の選出

横井会長より以下のとおり提案があり、承認された。

会長：横井幸子

副会長（会長代行）：白山利信

理事：人見友章、佐山豪太、シピトゥーニナ・マリーナ、高橋健一郎、菱川邦俊

監事 黒岩幸子

事務局：（事務局長）高橋健一郎、（総務）高橋健一郎、（財務）小田桐奈美、藤川敏宏

編集委員会：(委員長) 人見友章、若月花帆、水野晶子、シピトゥーニナ・マリーナ、サヴィヌ  
イフ・アンナ、

広報委員会：(委員長) 菱川邦俊、三好マリア

全国大会実行委員会：（委員長）理事会に一任

地区例会実行委員会：(委員長) 佐山豪太、(東日本) ムヒナ・ヴァルヴァラ、(西日本) ボリソ  
ワ・アンナ